

ボッチャ実施要領(案)

1 競技規則

競技規則は、令和6年度日本ボッチャ協会競技規則及び全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技規則によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 本大会の競技ルールは、全日本ボッチャ協会公式ルール2017-2020 va2に基づきますが、以下に定めてある本大会独自ルールを優先して運営します。
- (2) 座位選手は車いす又は椅子座位、立位選手は立位(杖等使用可)での個人戦とします。
- (3) 1試合2エンド制、タイブレイクは1エンドとします。(リーグ戦でのタイブレイクは行わず、同点の場合は引き分けとします。)
- (4) 試合時間は1エンド6分、ウォームアップは2分とします。
- (5) 1エンド目は赤サイドが先攻、2エンド目は青サイドが先攻でジャックボールを投球し、エンドを開始します。
- (6) 選手は、6個のカラーボールを使用し、赤サイドは3番、青サイドは4番のスローイングボックスとします。
- (7) 座位A・B・C・Dパートは予選リーグ戦を行い、各パート上位2名による決勝トーナメントを行います。各リーグの1～2位までの順位は、勝ち点、直接対決、得失点差の順で判断し、全て同率の場合は、該当選手によるタイブレイクで決定します。(勝ち点 勝:2点 引き分け:1点 敗:0点)
- (8) 立位パートは総当たりリーグ戦とし、1～3位までの順位は、勝ち点、直接対決、得失点差の順で判断し、全て同率の場合は、該当選手によるタイブレイクで順位を決定します。
- (9) 当日欠場選手が生じた場合には、リーグ内での組合せ変更を審判長とコート主任が行い、不戦勝が生じないようにします。途中欠場等でやむを得ず不戦勝が生じた場合は、勝ち点2とし、得点は3-0での勝利とします。

3 開始式

開始式は、令和6年5月12日(日)に、競技会場にて行う。

4 表彰

表彰は、立位、座位の部で1位から3位までを表彰する。

5 招集

- (1) 招集開始時刻は試合開始時刻の10分前とし、コートに隣接する選手控えエリアで待機すること。
前の試合が終了次第、選手の確認と先攻・後攻等を決める。

6 その他

- (1) 審判がコインをはじき、勝った方が赤サイドか青サイドのどちらかを選択する。
- (2) 両サイドがすべてのボール(ペナルティボール)を投球した後、審判は得点を宣言し、エンドの終了を宣言する。(競技アシスタントはこのタイミングでコートを振り返ることができる。)
- (3) 競技アシスタントは、審判の許可を得てからコートに入ることができる。
- (4) 審判が開始の合図、あるいはどちらのサイドの投球順番かを指示するまではジャックボール、カラーボールを問わず投球及び投球準備(ボールを揉む、狙いを定める等の行為)をしてはならない。
- (5) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。